

8市町村の可燃ごみ処理 「佐久平クリーンセンター」火入式

佐久市・北佐久郡環境施設組合（佐久市、軽井沢町、御代田町、立科町）は8月3日、ごみ焼却施設「佐久平クリーンセンター」（佐久市上平尾）の火入れ式を開いた。同組合長の柳田清二、佐久市長らが、タッチパネルの点火マークに触れると、スクリーンに焼却炉内に火がついた映像が映し出され、拍手が起った。

神事のあとの施主あいさつで、柳田組合長は「むこう30年間にわたって、一般廃棄物の焼却処理については、安定的に開場できる。大きな課題を乗り越え、節目の一日になったと思う」と話した。

「佐久平クリーンセンター」は、既存の佐久クリーンセンター（佐久市中込）、川西清掃センター（同望月）の老朽化に伴い、両施設を統合し新設。地上4階建て、鉄骨鉄筋コンクリート造。延床面積6743㎡で、ス



タッチパネルに触れた20秒後、スクリーンに火がついた焼却炉内の様子が映し出された。

トーカ式焼却炉を2基備え、1日1100tのごみを処理する。川上村、南牧村を除く南佐久郡の4町村を加えた計8市町村の可燃ごみを処理する。7月末現在の工事進捗率は98・1%。建物には既に完成していて、残りは敷地内の外構と舗装などという。お盆過ぎから一部ごみの受け入れを開始し、試験運転しながら不具合がないか確認。12月1日の本格稼働を予定している。

レイアウトや住民対応を確認 コロナ禍の避難所開設訓練

軽井沢町は7月17日、災害の発生時に、新型コロナウイルスの感染を防止しながら避難所を設置、運営する訓練を行った。

段ボール素材の仕切りやベッド、避難所専用 TENT を設置し、全体のレイアウトを確認。フェースシールドを装着した職員が、避難者役の町職員を検温。健康状態などを尋ね、誘導するまでの手順を実践した。感染者との濃厚接触者や、発熱の症状がある避難者への対応も確認した。

事前に用意した健康チェックリストは、質問が18項目。一人に時間がかかり過ぎることから、最初の受付で質問する内容は、「2週間以内に感染拡大地域へ行ったか」「体調はどうか」「呼吸器疾患はあるか」の3つに絞るよう

その場で修正した。

総務課防災係の担当者によると、コロナ禍では、密を避けるため避難所の収容人数が、半分ほどに制限されてしまう。人数を上回った場合、危険性がより高い地域の人を優先することがあるという。

訓練は、指定避難所である風越総合体育館と町中央公民館の2カ所で行い、のべ50人の職員が参加した。



軽井沢プリンスホテルウエスト MICE 施設とレストラン棟、新設

軽井沢プリンスホテルウエストは7月23日、国際会議や大規模イベントなど MICE に対応する新施設と、レストラン棟をオープンした。

MICE 利用者専用のエントランスとロビー、セミナーや研修の休憩時間やアフターパーティーに使用するバンケットテラスを新設した。レストラン棟2階は、地元食材を中心とした、和洋中の料理を提供するレストラン「プリムローズ」。感染症対策をした

上で、buffetスタイルを一部に取り入れ、朝食、ランチ、ディナー以外にも、喫茶、バーとしても利用できる。1階は「中国料理 桃李」が入る。

客室全174室のうち、72室もリニューアルした。来年には新客室棟70室と温泉棟を新設予定で、2023年に国内で開かれるG7サミットの軽井沢誘致による、会場選定も目指している。

長野・群馬地区統括総支配人の徳永清久さんは、軽井沢での事業開始

から今年が100年にあたることにふれ、「次の100年を見据えたホテルにしていく」と強調。レストランについては「まずは、地元のものを地元の環境で、地元の人に体験してもらいたい」と話した。



NEWS DIGEST

■ 高濃度アルコールの供給で、戸塚酒造と協定

軽井沢町は7月10日、戸塚酒造（佐久市）と、感染症対策に必要な高濃度アルコール製品の製造、供給に関する協定を結んだ。感染予防に必要な手指消毒液の調達が困難なとき、町は同社に高濃度アルコール製品の製造、町民や町内事業者への優先供給を要請できる。同社によると、月産で1500～2000リットルの高濃度アルコール製品の製造が可能。代表取締役の戸塚繁さんは「県産のお米100%なので、原料は沢山ある。軽井沢のために切れることなく供給できる」と話した。



■ よりよい軽井沢高校目指し、生徒らが話し合い

軽井沢高校は7月14日、生徒、教職員、保護者の三者が、よりよい学校づくりに向けて話し合う「軽高会議」を開いた。約40人が4つのテーマごとに分かれ、課題解決に向けアイデアを出し合い、最後にはZoomで各教室を繋ぎ代表者が発表した。「地域・校外」について話し合ったグループは「地域との交流が少ないこと」を課題に設定。「地域を巻き込める企画を考え、商工会や観光協会に持ち込んだらどうか」「高校生の視点で、おすすめの道を示したサイクリングマップを作ったら面白い」などのアイデアが出ていた。



■ 明治安田生命保険相互会社から町へ寄付金

明治安田生命保険相互会社は8月4日、軽井沢町に21万6500円を寄付した。同社長野支社長の竹林浩昭さんが、藤巻町長に目録を手渡した。寄付金は「私の地元応援基金」という名のもと、明治安田生命グループの全従業員（約4万7千人）が、出身地などゆかりのある地域の自治体、団体などに募金し、会社からの寄付を上乗せしたもの。竹林さんは「地域社会全体が再び元気を取り戻すことを願い、一層の支援を継続していく」と話した。寄付金は、公共施設で使用するアルコール消毒液の購入費などにあてると予定だ。



Lini
BALTIc LINEN & LIFESTYLE

バルト三国で出会った素材で作る手作り服と小物

「欲しい物が形になる」を叶える
Lini Teshigoto Studioの
少人数スタイルレッスン

liniteshigoto
lini atelier shop
詳しくはWEBから→

設計会社から始まった住宅施工会社

冬場の管理費、電気代の心配が不要
厳しい軽井沢の冬でも暖かな家
お客様の理想の家を予算内で

完成物件&建築現場
随時
見学受付中!

お気軽に
お電話ください

軽井沢の風土にあった家をつくり続けて44年 詳しくは、施工事例が掲載されたHPをチェック

セイケンハウス
SEIKEN HOUSE

TEL.0267-45-1155
軽井沢町大字長倉1888-9 <http://www.seiken-house.jp>
企画・設計 (株)青建設計 本社/セイケンハウス(株) 小諸市甲549-2

豊富な施工事例は右のQRコードからチェック

Follow me!

株式会社 安東商店
Shell

レンタカー

価格もサービスも、スマートに。
**コンパクトクラス
6時間 2,000円~**

〒389-0104
軽井沢町軽井沢東7-12
カーシェアレンタカー 軽井沢駅前北口店
TEL.0267-42-0268
軽井沢駅入口交差点すぐ